

通告時間60分

石渡悦子議員

地震災害を未然に防ぐためには

耐震改修促進計画は今年度中に策定します

防災対策について

問 高齢者・障がい者・要介護世帯に対する家具転倒防止金具取り付け助成制度に取り組んでください。

町長 災害時においては、社会的弱者であるお年寄りの方などが犠牲になるケースが多くみられます。家具転倒防止金具については、地震による被害を未然に防ぐために有効であると思われまので、今後助成制度も含め検討してまいります。

問 民間戸建て住宅に対する耐震診断、耐震改修工事助成制度の創設を求めます。

町長 本年度内を目途に多古町耐震改修促進計画を策定する予定で準備を進めております。ご指摘の制度については、国・県の耐震関連の補助事業や、他市町の実施状況を勘案しながら計画の中で創設について検討してまいりたいと考えております。

問 耐震改修促進法は2006年に改正され、2015年までに住宅等の建築物は90%の耐震化を進めるとしておりますが、すでに国・県の助成もありません。本町での達成見通しを伺います。加えてリフォーム助成について町の考えを伺います。

都市計画室長 耐震改修の対象は昭和56年以前の旧建築基準法で建てられた建物についてです。まず本町

の建築物の動向について調査し、計画的に耐震改修の促進・達成目標を立てていくこととなりますので、現時点では、何年位とはお答えできない状況です。リフォーム助成については、政府の新成長戦略の中で2020年までに倍増される事が示されており、具体的な施策が未だ示されておりませんが、国・県の動向に注意しながら検討してまいります。

問 昭和56年以前の建築物については、固定資産税が賦課されており把握できていると思いますが。

都市計画室長 数字の取りまとめ作業にこれから取り掛かります。早々に計画を進め、耐震改修促進計画については、今年度中に策定いたします。

幼保一元化の状況について

問 政府は子ども・子育て新システム基本制度案を公表しました。



子育てしやすい町を目指して…

ります。ご指摘の点は現状を踏まえた通学環境整備を行う点で今後の検討課題と認識しております。

問 極端に言えば部活動ができる、部活動をやってもきちんと循環バスで帰ることができるという体制が、環境整備ではないかと思えます。これに方向性を検討すべきと思えますが、今後の循環バスの位置づけとして町長は通学に合わせた増便やルートの変更など、対策を練っていく考えはありますか。

町長 循環バスの運行時間帯の改善を含めた対策ですが、実は今循環バスの労働規約を含めて最大の幅で運行しているのが現状です。これを超えますと倍の金額になってしまい、時間をずらすと、時間の枠から外れてしまうという事で苦慮しています。ですから今後のいろいろな検討をしたうえで、改善する方向性を見出し、予算の検討もした上で、拡充していく方向はあると思います。事務的な検討は充分加えさせていただきたいと考えております。



多古中生徒の下校風景（プラザ前）



問 1年生は部活動の朝練習の準備のために早く登校するとか、都合もあるとは思いますが、1年生はバスに乗れないなどと話題になり、子ども達が自分達の力で解決していくこ

椎名義光議員

通学環境の整備は行政の仕事ではないか

通告時間60分

自転車の基本ですが、循環バスの運行時間の改善も検討します

中学校通学問題について

問 親が子どもの送迎時間に合わせて働ける職場に移ったり、祖父母が送迎を任せられ送迎の車を買ったという話も聞いております。この根本には通学は親の責任だから仕方ないという考え方があって思えます。しかし、私は通学環境の整備は行政の仕事であると考えています。町長はどういう姿勢なのか伺います。

町長 私は基本的に中学生は自転車で通学できればと思っております。しかし単純に自転車通学をと言えない状況にあることは承知しております。バスで通学できることが理想なので、それが時間調整など検討を加える必要があ

新制度では幼稚園、保育所、認定こども園の垣根を取り払い、こども園に一体化する幼保一元化を進めることが盛り込まれていますが、町長の進める幼保一元化と合致するものなのでしょうか。また、保育士・幼稚園教諭の身分保障や、保護者負担についてはどう変化するのか伺います。

町長 本町における一元化の検討については国の動きを受けてというよりも、少子化や施設の老朽化、幼児教育の充実、多様な保育需要に対応するために検討を始めたものです。また、この新制度によることも、子育て包括交付金がどれだけ交付され、使えるか、現時点では詳細は不明ですが、施設整備にあたり注視してまいります。保育士や幼稚園教諭の現在の身分について大きな変動はないものと考えております。保育料の設定については充分検討する必要があります。現時点で一定の方向性が定まっておりますので、もう少し時間をいただきたいと思います。現在検討している一元化整備において運営の民間委託は考えておりません。

とであって、規則でしぼるといった問題ではないと思えます。しかし私達に出来ることは、1年生、2年生、3年生が乗っても十分なスペースがあるというものを用意して、部活動も一定程度できるという環境づくりが必要だと思えますが、そういう視点で今後の協議をするということはどうでしょうか。

教育長 基本的にバスを利用したい場合には利用できるというような体制づくりは必要だと思えます。先程言われましたように保護者の送迎というような実態に今ある訳ですが、自転車を基本として、バスあるいは保護者とそういう選択を生徒達がとれる、自分が適当なものを選択できるようなシステムを作ることが大事だと思えます。これからこのあたりを検討して、学校とも連携をとって、先輩後輩の問題も含めて考えていきたいと思っております。



14 椎名義光